

# 2019年度東京YMCA社会体育・保育専門学校 第1回学校関係者評価委員会議事録

日時：2019年9月14日(土) 18時00分～19時30分

場所：東京YMCA社会体育・保育専門学校1階会議室

出席者：伊藤郁夫、星住秀一、松本竹弘、渡部健人、阿部亮

列席者：堀雄二、佐治克彦

## I. 校長挨拶と職業実践専門課程の認定に関する説明

スポーツトレーナー科、スポーツインストラクター科、保育科が職業実践専門課程の認定を受けており、認定に至る経過、現状の説明が堀校長よりあった。

## II. 学校関係者評価表に関して

今年度も昨年同様、自己評価に基づき「学校関係者評価」を行うが、これを学校関係者評価表としてまとめ、HPへ掲載していくことの説明が堀校長よりあり、これを承認した。

## III. 2018年度学校関係者評価に関して

2018年度自己評価表に関して堀校長より説明があり、その項目に沿って学校関係者評価としてのコメントをいただいた。以下の項目が特に学校関係者評価として強調すべき改善点として挙げられた。

- ・「現場主義」を謳っているが、その質の維持のための方策は、施設毎・年度毎の工夫だけでなく、きちんと個人に合わせて、現場の体験ができるように、事前の担当者との打ち合わせを充実させること。(松本委員)
- ・近隣のYMCAとの連携は、例年同じ内容に留まらず、より広がりや連続性に重きをおき、人間形成に結びつけることが必要である。(星住委員)
- ・スポーツトレーナー科は、全員が健康運動実践指導者資格取得を目指す。ATコースの学生は複数の資格取得にとくに挑戦をすること。(佐治副校長)
- ・保育科は、社会の保育士不足の声に応えるべく、定員の確保に努める。(阿部委員)
- ・本校独自の奨学金制度の意味と、効果の再確認を行い、必要に応じて今般の社会状況を鑑み、拡大の方向を検討してはどうか。(渡部委員)
- ・教職員のレベルアップのための研修の機会を増やし、変化する社会、学生の個性や専門分野が求める職業人に対応できるようにすることが必要ではないか。(伊藤委員)

## IV. その他

堀校長より、来年のオリンピック・パラリンピックに向けて本校学生のボランティアの機会を設定して、全国のYMCAの専門学校に発信し、多くの若者の活躍の様子を共有できるようにしたいという旨の思いが語られた。また、地域と連携が深い専門学校になるべく、諸地域活動への積極的な参加や、公開講座の開催などにも力を注いでいきたいので、この委員会での活発な議論を期待したいとの挨拶があり閉会した。

以上  
記録 佐治克彦